

発言NO

17

受付NO 21

令和3年 11月 19日

10時59分 受付

## 一般質問発言通告書

議席番号 12番

氏名 上野 茂

3

答弁を求める者

市長

教育長

監査委員 選挙管理委員会委員長

(○をつける)

農業委員会会長

固定資産評価審査委員会委員長

公平委員会委員 地域地

発言項目及び要旨

### 1. 中山間地域の現状と今後の振興施策について

(1) 自然環境を活かした潤いのある地域づくりについて

① 建設発生残土及び廃棄物の処理問題が各地で発生している。浜田市の現場等把握しているか伺う。

② 豊かな自然環境と地域資源を活かしたまちづくりに欠かせない、ツーリズム協議会等との連携できているか伺う。

(2) 耕作放棄地対策について

① 耕作放棄地<sub>の</sub>近年の状況について伺う。

② 有害鳥獣対策について伺う。

③ 米価下落に対し浜田市の影響を問う。

④ 林業活性化へ向けて森林環境譲与税の取り組みについて浜田市の具体的取り組みを問う。

(3) 地産地消の推進について

① 学校給食等での地元産の利用状況についての現状を問う。

② 学校<sub>へ</sub>、促進センター等への働きかけについての<sub>な</sub>具体的取り組みについて問う



発言No.

18

受付No.

4

令和3年11月18日

8時 54分 受付

## 一般質問発言通告書

議席番号 18番

氏名 佐々木 豊治

答弁を求める者

市長 教育長 監査委員 選挙管理委員会委員長

(○をつける)

農業委員会会長 固定資産評価審査委員会委員長 公平委員会委員長

### 発言項目及び要旨

1 「住みたい、住んでよかった」と言われる浜田づくりについて

(1) 今後の市政運営について

① 今回の市長選において、久保田市長は市民から3選の支持を受けたものの、一方で、厳しい評価も下されたのではないかと伺う。

しかし、所信表明からは、この4年間、広い分野で市民福祉の向上の取組がなされてきたことが記されており、着実な市政運営に取り組まれたと理解する。

取組が市民になかなか伝わらないこともあると思うが、3期目の市政運営については、市民に対してより丁寧な説明、そして市民の声をより聴いていく姿勢などが求められてくると伺う。

市長3期目の運営について、市民に対し、どのような姿勢で臨まれるのか伺う。

② 高齢化や環境の変化などから、市民生活が困難になりつつある状況をよく伺う。移動手段の確保や草刈りの担い手、イノシシなど有害鳥獣被害対策、コロナ禍で経済的に厳しくなっておられる方々への支援など、市民生活を支援する施策をもっと充実させるべきと思うが所見を伺う。

- ③ 来年度から交通手段の確保対策として「あいのりタクシー事業」が始まる。基本的に市内に限りタクシーにあいのりして利用すると、基本500円で利用できる事業で、すでに市民からは多くの期待も寄せられていると感じている。多くの市民の移動手段をつくるため、実施主体の地区まちづくり委員会への働きかけをはじめ、市としてどのように取組んでいくのか伺う。

(2) 歴史文化保存展示施設整備事業について

- ① 歴史文化保存展示施設整備事業について、以前「郷土資料館の建て替え」という位置付けとの表明が市長からあり、その意味合いのもと、事業が進められていると思う。

しかし、最近、市民からは「ハコモノはいらない」との声が強くなってきていると感じているが、市長の認識を伺う。

- ② 事業名を「浜田郷土資料館建て替え事業」と変えて取組むことは考えられないか伺う。

2. 通学支援について

(1) 第四中学校統合に伴う支援について

- ① 令和6年度から第四中学校が第三中学校に統合される計画案が示されたことにより、今年度から、美川小学校から第四中学校へ入る生徒が非常に少なくなっている。

教育委員会の認識と、どのような問題意識をもっているのか伺う。

- ② 第三中学校へ通学する生徒が今後も多くなっている現状から、第四中学校から第三中学校の通学バスを検討する必要もでてきたと思うが、通学バスについて前倒しで検討できないか伺う。

- ③ このまま、第四中学校に入る生徒が少ない状況が続くと、統合を一年早めることも検討する必要があると思うが所見を伺う。

(2) 校区外に通学する生徒の支援について

- ① 校区外に通学している生徒について、やりたい部活があるから希望して校区外通学する場合もあると思うが、いじめなど様々な状況により、仕方なく他の学校に通わざるを得ない生徒もいると思う。校区外通学の実態について伺う。
- ② 校区外通学は基本的にその家庭で送ることが基本であると思う。しかし、いじめなどにより、校区外に通わざるを得ない生徒について、その通学する距離が遠方である場合、何らかの支援を行うべきと思うが所見を伺う。



## 一 般 質 問 発 言 通 告 書

議席番号 11 番

氏名 小川 稔 宏

答弁を求める者  
(○をつける)

市長

教育長

監査委員

選挙管理委員会委員長

農業委員会会長

固定資産評価審査委員会委員長

公平委員会委員長

### 発言項目及び要旨

#### 1 ヤングケアラーの現状把握とサポート体制の充実について

ヤングケアラーとは「大人が担うような責任を引き受け、病気や障がいなどケアが必要な家族の世話や家事をする 18 歳未満の子ども」と定義されている。家族の世話や家事に時間を奪われ日常生活や学力への影響などが懸念されており、国の調査では中学生は 17 人に 1 人、高校生は 20 人に 1 人で、1 クラスに 1～2 人いると推定されている。

##### (1) ヤングケアラー支援に関する担当課の明確化について

ヤングケアラーは「見ようとしないと見えない存在、見ようとしても見えにくい存在」といわれ、細やかな対応による早期発見と必要な支援につなぐ取組が求められる。

- ① ヤングケアラーへの対応状況と実態把握について現状を伺う。
- ② ヤングケアラー支援に精通した専門員の人数と配置について伺う。
- ③ 「こども・若者ケアラー支援課」の設置等、ヤングケアラー支援の担当者及び責任体制を明確化すべきと考えるが所見を伺う。

##### (2) ヤングケアラー支援の認知度向上と普及・啓発について

ヤングケアラーとはどういうものかを示し、どこに相談すれば良いか、どんな支援が受けられるか等のメッセージを子供たちに分かりやすく伝えることが重要と考える。

- ① ヤングケアラー認知度向上の普及・啓発についての実施状況を伺う。
- ② 支援マニュアルや子供向けリーフレットの作成・配布に対する市の認識を伺う。
- ③ 普及・啓発、研修の実施や人材育成、相談窓口の充実など、施策の推進に向けては、支援員を採用し本格的に取組むべき課題と考えるが、所見を伺う。

##### (3) ヤングケアラー支援の充実に向けた課題について

ヤングケアラーを放置したり、孤立させないためにも、正確な実態を把握したうえで、分析・検討を加え、必要かつ効果的な支援策を講じる取組が必要である。

- ① 調査票・アンケートなどによる実態調査の実施に対しての考えを伺う。
- ② 当事者同士の情報交換の機会や交流の場の有無と現状認識について伺う。
- ③ ヘルパー無料派遣等、具体的支援のあり方についての検討状況を伺う。
- ④ ケアラー支援条例の制定の必要性と意義について所見を伺う。





発言No. 20

受付No. 7

令和 3 年 11 月 18 日  
11 時 39 分 受付

## 一 般 質 問 発 言 通 告 書

議席番号 22 番

氏名 牛尾昭

答弁を求める者

(○をつける)

○市長 教育長 監査委員 選挙管理委員会委員長

農業委員会会長 固定資産評価審査委員会委員長 公平委員会委員長

発言項目及び要旨

### 1. 水産業振興について

①新聞によると、知事が、JF に対して、解散命令を出すとするが、今日まで、内部の問題として静観していたが、おだやかではない状況のようである。この現状についての市長の見解を問う。② 現在、底引き網漁船専用の 4 号市場が整備されつつある。岸壁は、県の支援で整備され、本体工事には、多額の国費が投入される。総合計画には、現在の船団を守ると書き込むであるが、具体的な計画は示されていない。各船団とも、老朽化が進んでおり、新船建造やそれに準ずる船舶を用意出来なければ継続は危うい。7 号市場、4 号市場完成という、エビデンスからの政策立案の考え方を問う。

③ 11 月 17 日から、底引き網連合会提供ののどぐろ給食が、<sup>茨城</sup>東中学からスタートした。快挙である。今回の施政方針で 18 歳までの、医療費免除が提案された。そのことは、一定の評価はするが、子供達に喜んで貰うためには、ふるさと教育、食育として、のどぐろやアジなどの、1 級の地元食材を提供すべきと思うが見解を問う。

④ ガソリンや灯油、軽油の値上がりが激しい。国が動きそうであるが、連携して、運送業者、高齢者福祉施設、漁船漁業の支援策が必要ではないか問う。

### 2. 高齢者に優しいまちづくりについて

選挙前や選挙後を通じて、多くの市民から、訴えがあったのは、高齢者にもっと優しくして欲しいという事であった。具体的には、福祉乗車券をもっと買いたい。でなければ、買い物に行けない。免許証を返すと、ここでは、生きていけない。バス路線が、実態に合っていない。などである。そこでまず、お伺いしますが、①福祉乗車券の増額の可能性を問う。②次に、運送業者にも負担を仰ぎ、増額の可能性を問う。



発言No. 21

受付No. 16

令和3年11月19日

10時44分 受付

一般質問発言通告書

議席番号 4 番 氏名 三浦大紀

答弁を求める者 ○市長 教育長 監査委員 選挙管理委員会委員長  
(○をつける) 農業委員会会長 固定資産評価審査委員会委員長 公平委員会委員長

発言項目及び要旨

1、地域経済における滞留・循環の促進について

近年、国際的にも国内的にも地域間での分業化が顕著である。地方における持続可能な地域づくりにおいては、外部依存の体質を見直すとともに、自ら生み出すことへの意識をより強く持つべきではないか。さらには、資源の循環を促す対策にも重点を置く必要があると考える。当市における現状認識を確認するとともに、対策の考え方等について以下質問する。

- (1) 浜田市の経済現況をどのように捉えているか。
- (2) 資源の循環を意識した対策の取組状況はどのようなものか。

